

李承亮 / Li Cheng-Liang

「横浜星猩(よこはましんしん)」

“Star-gorilla in YOKOHAMA”

2020.3.20.fri. - 3.29.sun. 11:00 - 19:00

BankART Station 入場無料

(横浜市西区みなとみらい 5-1 新高島駅 B1F)

台北市・横浜市アーティスト交流プログラム 2019
リ・シヨウリョウ

新型コロナウイルス感染症対策のため、
観覧会場内の同時観覧者数を最大
15名でオープンします。
皆様、マスク着用とアルコール消
毒のご協力をお願いします。

台北国際芸術村(Taipei Artist Village)
とBankART1929は、平成17年度か
ら毎年アーティストを相互に派遣し、
各施設で約90日間の滞在制作を行っ
ています。15回目を迎えた2019年
度は、横浜からは、細淵太麻紀氏が、
2020年1月6日から3月27日までTAV
に滞在、台北からは、李承亮氏が1
月12日から3月31日までBankART
に滞在し、今回の展示でその成果発
表を行います。

台北市・横浜市アーティスト交流プログラム

横浜市は、「創造都市(クリエイティブ・シティ)」の実現を目指し、文化芸術の創造性を生かして都市の新しい価値や魅力につなげていく取組みを進めており、都心臨海部を中心に、アーティストやクリエイターが創作・発表・滞在(居住)しやすい環境づくりを推進しています。また、横浜市は、世界に開かれた国際都市として、アジア諸都市等とのネットワークづくりに取り組んでおり、パートナー都市である台北市とは、芸術文化、スポーツなどさまざまな分野での交流を進めています。芸術分野では、平成17年度から、芸術家支援の分野などで国際的に豊富な実績をもつ台北市との間で、芸術家を相互に派遣する「芸術家交流事業」をスタートし、それぞれの都市から派遣された芸術家が、市民や現地の芸術関係者との交流を深めています。

横浜市文化観光局



恒星は自らの力（核反応）で光や熱としてエネルギーを放射し、流動の大気をかけぬけ、輝き光っている。この三ヶ月間、横浜での私の生活は、この恒星の光と熱を受けているように刺激的だった。横浜の輝きは、私たちの生活に刺激（放射）を与え続け、横浜で生活している私たち（猩々）をYOKOHAMAで輝くStarに導いてくれるかのごとくである。

今回の成果展の作品は、未知の環境下だったが、横浜（日本）で手に入りやすい素材を探し、新しい挑戦を行なった。そのひとつがアクリル絵具。このごくスタンダードな素材を用いて久しぶりに絵画を制作した。毎日スタジオへ向かう前に、キャンパスに横浜のどんな画面を加えるのかを構想。異なる生活風景が頭をめぐる。山下町のスタジオの周りの建築や走っている車、関内のお店、看板、SF系の漫画、たまたま開いた雑誌の中の発見や出会いを、空の星のようにランダムに画面の中で組み合わせた。

もうひとつの作品は、スタジオにある椅子を素材にしたゴリラ（大猩々）型の彫刻で、生活用品に変形を加え、精神の激変を表す「猩々」だ。

この変幻自在のメタモルフォーゼの彫刻とキャンパスに描かれた画面は、私が横浜での生活の中で膨らまし、想像するSFの世界だ。

李 承亮

【猩猩、猩々】（しょうじょう）とは、古典書物に記された架空の動物。能の演目である五番目物の曲名『猩猩』が有名である。仏教の古典書物や中国の古典書物にも登場するが、中国では黄色の毛の生き物や豚と伝わるなど多岐に富み、現代日本で定着している猩々の印象とは相違もあるため注意が必要である。



「路上の万年駅」（2017、東門美術館/台南）撮影：王世邦



「月の宇宙計画-宇宙カプセル、旅行車、月球」（2015、mt.black/台北）撮影：王世邦



李 承亮 | リ・ショウリョウ

1986年台湾の基隆で生まれる。2013年国立台北芸術大学大学院修士コース、メディアアート専攻を修了。2008-11年、友人と「復興漢スタジオ」を設立。アナーキーな行動で芸術と対話し、創造の可能性を追求しながら、台北で展示などを行った。大学卒業後、台南へ拠点を移動。現代人の日常生活の様子を、造形物と空間環境を組み合わせ、李氏が感じた現代生活の状態をインスタレーションで表現。工芸と芸術の融合にこだわりながらも作品を手作りで行う。

【個展】

2017 「路上の万年駅」東門美術館（台南）
2016 「風を見る犬」蕭壠国際芸術村（台南）
2015 「月の宇宙計画-宇宙カプセル、旅行車、月球」mt.black（台北）
2014 「月の宇宙計画-宇宙カプセル+企画図」台新金控ビル（台北）

【グループ展】

2019 「許俊傑 李承亮-碳烤哥吉拉佐茶-」FUJIKI 陶芸の森（滋賀）
2018 「台湾とモンゴルの現代芸術遊牧計画」ART SPACE 976（ウランバートル、モンゴル）
2018 「第七回石彫シンポジウム-考古石山の創作」YV ART MUSEUM（ボストン）



「風を見る犬」（2016、蕭壠国際芸術村/台南）撮影：Rich Matheson

お問い合わせ | BankART 1929 office

TEL: 045-663-2812 E-mail: info@bankart1929.com

アクセス | BankART Station（横浜市西区みなとみらい5-1）

みなとみらい線「新高島駅」B1階